

実習内容
ならびに
スケジュール

皮膚科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	イントロ・外来実習	金澤	9:00	1号館2階皮膚科外来
	アレルギー外来実習	金澤	13:00	1号館2階皮膚科外来
	臨床写真500問①	自習（秘書）	15:00-16:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
火	手術見学	和田/林	8:45	急性医療総合センター4階 手術センター
	病棟患者検討会	金澤/林	13:30	8号館6階皮膚科カンファレンス室
	略語解説	金澤	14:30	8号館6階皮膚科カンファレンス室
	症例検討・手術症例検討会	村田/林	16:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
水	外来実習	和田	8:45	1号館2階皮膚科外来
	臨床写真500問②	自習	14:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
	レポート準備			
木	外来実習	村田	9:00	1号館2階皮膚科外来
	皮膚外科ビデオ・講義	和田	15:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
	皮膚科クルズス（にきび）	黒川 （ビデオ講義の場合は自習）	16:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
金	レポート準備			
	レポート発表	藤原	15:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
	皮膚科臨床病理検討会	金澤/村田	16:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室

◎ 診療科名： 皮膚科

◎ 責任者氏名： 金澤 伸雄 主任教授

◎ 指導教員氏名： 村田 光麻 講師、和田 吉弘 助教、

林 秀樹 助教、藤原 真鈴 助教、

黒川 一郎 臨床教育教授（明和病院皮膚科）

◎ 実習概要

1.検討会（病棟患者・手術症例・臨床病理）、2.外来実習（初診、アレルギー検査、光線療法、皮膚外科）、3.クルズス（臨床写真・ざ瘡）、4.手術見学、5.レポート作成などを行い、皮膚疾患の的確な診断と治療方針立案の習得を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- 発疹学の医学用語を用いて、正しく皮膚症状を伝えることができる。
- 主要な皮膚疾患について診断ができる。
- 主要な皮膚疾患の病態を理解し、説明できる。
- 皮膚疾患患者に対する基本的な問診、診察が実施できる。
- 皮膚疾患の基本的な検査、治療法を理解し、実施できる。
- 皮膚疾患の治療計画を立てることができる。
- 患者の社会的、心理的側面を理解し、患者の立場に立った対応ができる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- 3年次の講義資料、皮膚科参考書の内容をよく復習しておくこと（2日）
- 皮膚科領域の国家試験過去問を解いておくこと（3時間）

◎ 評価方法

(知識、技能、態度について S、A、B、C で評価。評価基準をルーブリックで明示。)

	S	A	B	C
知識	代表的な疾患の治療を説明できる。	代表的な疾患の病態を説明できる。	代表的な疾患の概略を説明できる。	一部の疾患について理解している。
技術	発疹・徴候に基づいて診断ができる。	発疹・徴候を適切に記述できる。	発疹・徴候を説明できる。	一部の発疹・徴候を説明できる。
態度	積極的で質問もよくする。	積極的。	やや消極的。	消極的で質問がない。

◎ パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。

レポート発表 mini-CEX

◎ 中間評価とフィードバック

実施しない。

◎ 注意事項

- ・実習前に、Moodle にアップロードされている「皮膚科臨床実習前の手引き」と「問診の心得」をダウンロードし、内容を確認してしっかり予習しておくこと。
- ・外来実習は9時00分（水曜日のみ8時45分）までに、皮膚科外来に集合すること。
- ・必ず3年次の講義資料、参考書を持参すること。
- ・実習は、必ずしも時間通りに終了するとは限らないことを承知しておくこと。
- ・午後の外来実習、クルズスなどは、開始時間など各指導教員に予め確認しておくこと。
- ・実習期間中の休日は、各自自習とする。

<実習ローテーションについて>

通し番号	実習ローテーション
1、2、3	皮膚科（1 週間） ⇒ 泌尿器科（1 週間） ⇒ ささやま（2 週間）
4、5、6	泌尿器科（1 週間） ⇒ 皮膚科（1 週間） ⇒ ささやま（2 週間）
7、8、9	ささやま（2 週間） ⇒ 皮膚科（1 週間） ⇒ 泌尿器科（1 週間）
10、11、12	ささやま（2 週間） ⇒ 泌尿器科（1 週間） ⇒ 皮膚科（1 週間）